

H133 先端的政策分析	
英名科目名	Advanced Economic Policy
大学名	京都先端科学大学
連絡先	教務センター（京都太秦キャンパス） TEL：075-406-9123
担当教員	跡田 直澄（経済経営学部・経済学科特任教授）
開講期間	2021年09月21日(火)～2022年01月18日(火) 4講時 14時20分～15時50分（毎週火曜日） 2021/11/23(火・祝)勤労感謝の日は授業なし 2021/12/23(木)～2022/1/5(水)の期間は授業なし
開講形態	後期・秋学期 開講曜日・講時 火曜日 4講時
単位数	2 履修年次 2年次以上
会場	京都太秦キャンパス
授業定員	
単位互換生定員	10 京カレッジ生定員
試験・評価方法	授業は2回の講義と1回のグループ学習・グループ討論をパッケージとして、4テーマで構成される。各テーマ毎に取り上げた政策分析の意義とそこから導かれる政策論議について、レポートの提出を求める。成績評価は、最終課題でのグループ討論への参加度(40%)とレポート内容(60%)で行う
超過時の選考方法	書類選考
受講料	
別途負担費用	
その他特記事項	受講条件：前の回の講義で配布されるレジメに目を通しておき、講義後には主要項目について参考図書等で必ず調べておくこと。 受講ルール：私語は厳禁とする。私語が過ぎれば、他者への迷惑を助成し、退出を求める。 学修上の助言：日本経済新聞の「経済教室」などは、レポート作成に役立ちますから、読んでおくことを推めます。 教室について：決定次第、「お知らせ」へ掲示します。不明な点があれば連絡先まで問い合わせてください。
パッケージ科目	
低回生受講推奨科目	
講義概要・到達目標	
<p>【講義概要】</p> <p>高齢社会に突入した日本では、政府が巨額の累積債務を抱えながら、なお少子化が進行し、高齢化に伴う社会保障費も増大し続けている。その上に、格差社会というやや情緒的な危機も喧伝され、行き詰まりないしは閉塞感が蔓延している。本講義では、これらの問題を政策的にどう捉え分析していくのか、さらにはどのような処方箋が必要なのかについて、最先端の経済モデルや分析手法を紹介しながら、解決策を議論し、模索していく。</p> <p>【到達目標】</p> <p>財政赤字の現状を正確に把握ができ、それに対する各種解決策を理論モデルに基づいて分析でき、説明できる。 医療の現状を正確に把握ができ、それに対する各種解決策を理論モデルに基づいて分析でき、説明できる。 少子化の現状を正確に把握ができ、それに対する各種解決策を理論モデルに基づいて分析でき、説明できる。 租税政策の現状を正確に把握ができ、それに対する各種解決策を理論モデルに基づいて分析でき、説明できる。</p>	
講義スケジュール	
<p>第01回 講義の概要説明 教育方法：講義法で行う 授業外学修：配布する次のレジメについての下調べ。</p> <p>第02回 政府の巨額債務問題：現状と課題 教育方法：講義用レジメを用いて講義法で行う 授業外学修：配布する次のレジメについての下調べ。</p> <p>第03回 政策分析手法：財務分析、拡大抑制論、負担抑制論 教育方法：講義用レジメを用いて講義法で行う</p>	

授業外学修：配布する次の資料内容についての下調べ。 第04回 成長促進論、赤字削減論、債務削減論の評価 教育方法：講義資料を用いてグループ学習を行う 授業外学修：配布する次のレジメについての下調べ。	
第05回 医療政策：現状と課題 教育方法：講義用レジメを用いて講義法で行う 授業外学修：配布する次のレジメについての下調べ。	
第06回 政策分析手法：医療費抑制論、質・量確保論、地域包括ケア 教育方法：講義用レジメを用いて講義法で行う 授業外学修：配布する次の資料内容についての下調べ。	
第07回 2025年問題への対応 教育方法：講義用資料を用いてグループ学習を行う 授業外学修：配布する次のレジメについての下調べ。	
第08回 少子化対策：現状と課題 教育方法：講義用レジメを用いて講義法で行う 授業外学修：配布する次のレジメ講義法で行う	
第09回 分析手法：子供手当の有効性、施設増強の効果等 教育方法：講義用レジメを用いて講義法で行う 授業外学修：配布する次の資料内容についての下調べ。	
第10回 ネイティブの出生率を上げるには 教育方法：講義用資料を用いてグループ学習を行う 授業外学修：配布する次のレジメについての下調べ。	
第11回 租税施策：現状と課題 教育方法：講義用レジメを用いて講義法で行う 授業外学修：配布する次のレジメについての下調べ。	
第12回 分析手法：国民負担論、負担均衡論、分配公正化論 教育方法：講義用レジメを用いて講義法で行う 授業外学修：配布する次の資料内容についての下調べ。	
第13回 望ましい課税は：増税VS減税 教育方法：講義資料を用いてグループ学習を行う 授業外学修：レポート発表の準備	
第14回 レポート発表 教育方法：レポート発表とグループ討論 授業外学修：レポート発表の準備	
第15回 レポート発表 教育方法：レポート発表とグループ討論 授業外学修：レポートの発表の仕方や内容についての反省	
教科書	特になし。
参考書	必要に応じ、講義内で参考図書を紹介する。